※令和４年度以降入学生用

学校番号	103

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	総合芸術(書道)	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	無し						
副教材等	新版応用ペン習字帳　(教育図書)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な書に触れることで審美眼を養い感性を高めてもらいたい。正しい理論を基に実技を重ね、自ら考え表現する能力を身につけてもらいたい。
書道の創造的な諸活動を通して､生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統文化を尊重する態度を育むとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高めてもらいたいと思います。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。また、書の伝統と文化について理解を深め、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
(2)書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え､書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。また、社会人として必要な実用書を習得する。
(3)主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに､感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現する作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	応用の書	●教科書記載の人物を取り上げて調べ、作品と人物について記述する。 ●楷書、行書を美しく書く。 平仮名の字源を理解する。	a: 書の表現の違いについて、その特徴を時代と人物を通して理解している。 a: 用具用材が書作品の中で果たしている役割を知り、その効能を理解している。 b:鑑賞を通じて表現活動は一律でないことを理解し、比較を通じて各々のよさや美を感じ取る。 c:主体的に書の創造的な鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	漢字の書	●漢字の書の学習 五書体それぞれの古典を臨書する 『九成宮醴泉銘』 『真草千字文』 『蘭亭序』 『曹全碑』 『泰山刻石』	a:それぞれの書体の特徴と歴史について理解している。 a: 線筆と運筆と表現効果が密接に関係していることを理解している。 b: 古典の美を学び鑑賞力を深めその技法と普遍性のある表現を理解する。 b:古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に書の創造的な鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

	仮名の書	●仮名の書の学習 「いろは歌」 ・仮名の種類 ・仮名の美 『蓬莱切』 『高野切第三種』	a:仮名の特徴と古典の歴史を理解している。 a: 仮名の線質と用筆、運筆との関係、仮名の成立等を理解している。 b: 表現技法を身につけ、仮名の書のよさや美しさを味わって捉えている。 b: 仮名の書の美とその技法を学び実用書においても活かされている。 c:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

２学期	篆刻	●篆刻 ・落款印制作	a:篆書体の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:篆書体の古典に基づく効果的な表現の技能を身につけている。 b:篆書体の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:篆書体の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に書の創造的な鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

	漢字仮名交じりの書	●漢字仮名交じりの書 ・墨の表現 ・筆の表現 ・紙の表現 用具用材での表現方法	a:漢字仮名交じりの書を構成するさまざまな要素について理解している。 b: 漢字仮名交じりの書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:漢字仮名交じりの書の美的効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	大字書	●大字書を書く 全紙サイズ 2字	a:大字書を構成するさまざまな要素について理解している。 b: 大字書の表現に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:主体的に大字書の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	生活の書	●創作作品 ・カレンダー ・封筒・手紙 ・扇子	a:生活の書について関心を持ち、生活の書を構成する要素について理解している。 b:漢字と仮名の字形や文字の大きさが全体の構成に関わることを理解し、表現を工夫している。 c:主体的に生活の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

３学期	作品制作	●創作作品 ・色紙 ・半切	a:書の魅力や日常生活における書の効用について理解を深めている。 a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。 b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成，感興や意図に応じた個性的な表現、日常の中の書の表現について構想し工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に書の創造的な鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度